

市の人口と予算(8月1日現在)

人口・世帯 ()内は前月比/前年同月比

合計 = 183,358人 (+351/+4,868)

男 = 90,709人 (+172/+2,423)

女 = 92,649人 (+179/+2,445)

世帯 = 75,652世帯(+203/+2,553)

予算

一般会計 = 529億2,080万円

特別企業会計 = 470億1,191万7千円

「できることから、地域活動へ参加してみたい!」。そんな地域活動への意欲の高さが、平成28年度に市が行った地域福祉に関する調査から明らかになりました。

市では、平成29年度から平成33年度の第3期地域福祉計画を今年の4月に策定し、地域での助け合いや支え合いの活性化を目指しています。

防災への関心の高まりや福祉のニーズの多様化など、地域全体が抱える課題が増えています。解決のカギは、住民と団体が協力し合って、地域のチカラを高めること。

今号では地域に根ざした支え合いの事例を紹介します。市内にはたくさんの活動・団体があります。あなたもできることから始めてみませんか?

☎社会福祉課 ☎7150-6079 ID33860

みんなで
高める

地
域

の

チ
カ
ラ

ラ

特集：地域の支え合い特集



多世代が趣味や遊びで交流する



障害者の活躍を支援する



子育てを地域でサポート



日ごろの交流を非常時の助け合いに



困りごとをみんなで解決する

地域交流・
障害者
支援

障害者との交流や 支援のカタチが広がっています

障害者が施設で過ごすだけでなく、地域に出向いて、地域の中で活動する取り組みが増えています。出張販売での交流などが、障害者への支援や理解を深めるきっかけになっています。



焼きたてパンの出張販売 (心身障害者福祉作業所さつき園)

プロの職人から教わるレシピで作るパンや焼菓子、とてもおいしいと好評です。毎週、出張販売を行っており、市役所では木曜に、江戸川大学総合福祉専門学校では水曜(8月は休み)に買うことができます。



お客さんに渡すために、パンを袋に入れる時が一番うれしいです。販売に行くのが毎回楽しみです。



おすすめの
パウンドケーキ



特別養護老人ホームでの出張販売 (障害福祉サービス事務所つつじ園)

つつじ園では障害者が、さをり織りの布小物や和紙ぼち袋などの雑貨を制作。特別養護老人ホーム「月の船」で月に2回、さつき園のパンと一緒に出張販売を行い、入居者の方との交流を図っています。

お客さんとの交流が励みになっています

心身障害者福祉作業所さつき園
管理者 山中 貴樹さん



パンや焼菓子の製造販売を始めて、今年で10年になります。出張販売ではリピーターの方がとても多く、食パンや黒糖くるみパン、ぶどうパンが人気です。何度も買いにきてくれる方と顔見知りになって、声をかけてもらうことがとても励みになっており、「また販売に行きたい!」という気持ちになるようです。販売でのやりとりで代金をいただくことや、工夫やがんばり次第で売り上げが伸びれば賃金に反映されることも、やりがいにつながっていると思います。家庭や施設では見られない頼もしい表情に、障害者のご家族の方もびっくりされることがあります。

多世代で
遊ぶ・学ぶ

「高齢者ふれあいの家」で生まれはじめた多世代交流

「高齢者ふれあいの家」では、地域の高齢者が自由に集える場として、趣味や教養講座など、さまざまな活動が行われています。東初石5・6丁目自治会館を利用した「ふれあいの家「おおたかの森」」では、子どもたちが昔の遊びを教えてもらうなど、多世代の交流も生まれています。



将棋や囲碁は女の子にも人気! ペンダント作りなどのクラフトで世代交流

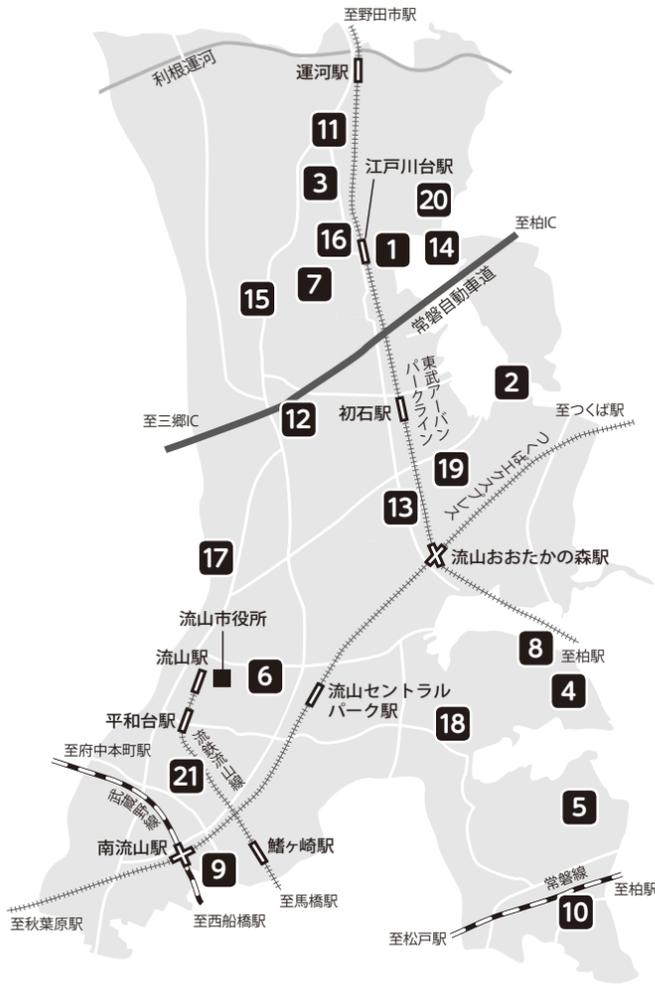


幅広い世代が気軽に参加できる場として好評

現在、市内の高齢者ふれあいの家は21カ所あります。どうぞお気軽にご参加ください。また、市では、開設や活動に係る支援費を支給しています。

問 高齢者生きがい推進課 ☎7150-6080 ID11205

施設名/電話番号
1 茶話やか広間 ☎7156-1164
2 気晴らし喫茶室 ☎7154-1325
3 ふれあいの家「風の村」 ☎7153-6333
4 なづのふれあいの家 ☎7138-6337
5 松ヶ丘ふれあいの家「野馬土手」 ☎7144-8272
6 平和台ふれあいの家「花みずき」 ☎080-8497-2495
7 ふれあいの家「コロ-会」 ☎7154-7691
8 豊台高齢者ふれあいの家「悠々サロン」 ☎7146-0362
9 ふれあいの家「かえるクラブ」 ☎080-2020-1088
10 向小金ふれあいの家「月見台」 ☎090-1262-1192
11 ふれあいの家「いそいそ」 ☎090-5396-5431
12 ふれあいの家「えがお」 ☎7153-5733
13 ふれあいの家「つどい」 ☎7153-0173
14 ふれあいの家「いきいきクラブ」 ☎080-3473-0802
15 ふれあいの家「きた」 ☎7153-7664
16 ふれあいの家「こもれび」 ☎7155-7160
17 ふれあいの家「ぴーすふる」 ☎7158-9232
18 ふれあいの家「ふたば」 ☎7199-9586
19 ふれあいの家「おおたかの森」 ☎7153-0624
20 ふれあいの家「いきいきクラブ雪割草」 ☎080-3473-0802
21 ふれあいの家「ふれあい倶楽部」 ☎7159-5602



※施設によって、利用時間や活動内容、利用料などが異なります。詳細は各施設にお問い合わせください。

この地域を好きになって、住み続けてほしい



ふれあいの家「おおたかの森」代表
東初石5・6丁目自治会 会長
吉田 義和さん

ここ数年で自治会の世帯数が約4倍に増加しました。共働き世帯も多いため、住民同士のつながりづくりを推進しようと、今年2月にふれあいの家「おおたかの森」を開設しました。気軽に参加できる活動を通じて、高齢者同士だけでなく、子どもたちとの交流も深まっています。そして将来、この子どもたちが、この地域を支える担い手になってほしいと願っています。

高齢者の就労に向けた
説明会を開催

日/所 ①8月21日(月)/シルバー人材センター(東初石3) ②8月22日(火)/南流山センター ※時間はいずれも10時から
費無料 申不要 問 シルバー人材センター ☎7155-3669

住民同士で
助け合う

ちょっとした困りごとを 気軽に頼める仕組み

昨年12月に結成された「地域支えあいの会 ふたば」は、ちょっとした困りごとを住民同士で助け合う住民主体型サービス(ちょい^{こま}困サービス・ちょい^{かよ}通サービス)を行う団体です。高齢者の生活支援を担うとともに、地域コミュニティ活性化の牽引役としても期待されています。



高齢者の住宅での電球交換(ちょい困サービス)



折り紙教室(ちょい通サービス)

「住民主体型サービス」とは?

▶ ちょい^{こま}困サービス

ゴミ出しや電球交換、庭の手入れなど日常生活の中で困っていることに対して支援を行うサービスです。車への乗降支援をセットで行う「ちょい困サービス+(プラス)」もあります。

▶ ちょい^{かよ}通サービス

軽体操やカフェ、手芸教室などを開催し、定期的に利用できる通いの場を提供します。

市では、住民主体型サービスを実施する団体に、立ち上げや運営についての補助金を交付しています。詳細は、市役所介護支援課へお問い合わせください。
 関介護支援課 ☎ 7150-6531 ID32785

人の輪づくりから、支援の仕組みを充実させたい



青柳さん(右)、東部高齢者なんでも相談室 多田美緒さん(左)

地域支えあいの会 ふたば 代表 青柳 末善さん

当初は八木南団地自治会員のためのお手伝いをしてきましたが、八木地区を中心に困りごとを支援していくために「地域支えあいの会 ふたば」を新たに立ち上げました。今なお試行錯誤の繰り返しですが、高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)と連携し、支援の仕組みを充実させて、住民同士がともに助け合う地域づくりをしたいと思っています。

そのためには、お祭りなどのイベントを通じた人の輪づくりが大切です。世代を超えて交流を深めると「困っている人を助けたい」という支援の気持ちや自分たちの街や地域をより良くしたいという気持ちが湧いてきます。実際にイベントを通して、活動に協力してくれる若者も増えています。平日は仕事で忙しいという方も、まずは地域のイベントから参加していただければと思います。



卓球を楽しみながら住民同士のつながりも強くなる「ふれあい卓球 友の会」の活動

普段からの
つながり

災害への備えにもつながる 日ごろの関係づくり

西初石にあるマンション「プライムガーデン 初石」の集会室では、住民が集まる「ふれあい卓球 友の会」が定期的に活動しています。きっかけは、会を立ちあげた小松崎照代さんの「年齢を重ねて外出が億劫になっても一人ぼっちにならないような、近くで手軽に参加できる場をつくりたい」との思いから。室内用運動靴ひとつで参加できる気軽さから、お子さん連れのママが参加することも。顔見知りが多ければ多いほど、災害時の不安も少なくなります。単なる交流の場だけでなく、安心につながる場としての役割も担っています。



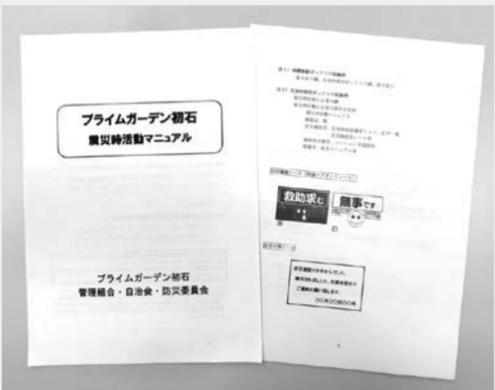
防災委員会では月1回定期的に災害時の対策や支え合いなどについて話し合う

顔見知りの存在がいざという時に役立つ

プライムガーデン初石自治会 会長 今川 成人さん

「ふれあい卓球 友の会」の活動は、自治会が作った仕組みではなく、住民の自発的な活動なので、これまで交流のなかった人ともコミュニケーションが生まれています。いざという時の助け合いに役立つのは、そうした顔見知りの存在です。今後も、卓球だけでなくいろいろな取り組みが増えるよう自治会として応援していきたいと思っています。

また、このマンションは築20年が経過し住民の高齢化が進んでいるため、災害対策は待ったなしです。そこで、自治会の防災委員会が中心となって、約3年前から積極的な災害対策を行っています。安否確認用マグネットシートを全182戸に配布したほか、震災時活動マニュアルの作成、受水槽への非常用給水栓の設置など、災害への備えを充実させてきました。今後さらに高齢化が進めば、災害時の支え合いをどう進めるかも課題になります。だからこそ、日ごろからの関係づくりを大切にしていきたいです。



防災委員会で作成した震災時活動マニュアル

自治会と民生委員・児童委員との連携

民生委員・児童委員(プライムガーデン初石自治会担当) 酒井 市子さん

災害時に備えて、自治会と連携して避難支援などが必要となる要支援者への訪問・声かけによる地域支え合い活動を進めています。また日ごろは、見守りや声かけを行い、専門機関へのパイプ役としても活動しています。普段の困りごとや悩みがあれば、声をかけてください。

地域支え合い活動とは?

世帯全員が75歳以上の高齢者世帯、要介護認定の方、障害をおもちの方などを、市、自治会、民生委員・児童委員、消防・警察など地域ぐるみで見守る仕組みです。例えば、自治会活動では、孤独死を防止するための日ごろからの見守りや、災害に備えた避難訓練を行っているところもあります。

お住まいの地区を担当する民生委員・児童委員の紹介や、地域支え合い活動に関する詳細は、市役所社会福祉課までお問い合わせください。
 関社会福祉課 ☎ 7150-6079
 ID33910 (民生委員・児童委員について)
 ID32198 (地域支え合い活動について)



親睦を深める会員交流会もあります

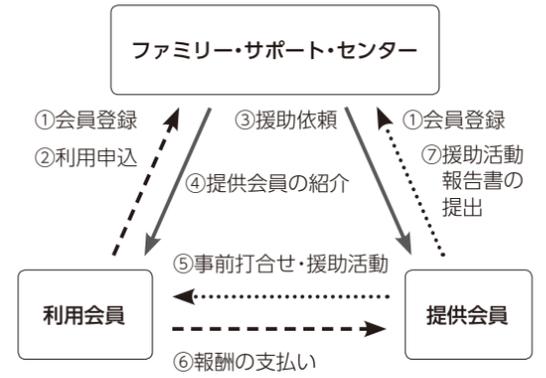
地域で
子育て
サポート

仕事との両立に、育児中のリフレッシュに 地域全体で子育てを支援

支援の受け手と担い手が会員となって、有償で助け合う子育て支援制度がファミリー・サポート・センターです。さまざまな支援の中でも特にニーズがあるのが、幼稚園・保育園(所)・学童保育・習い事などの送迎とその前後の一時預かりです。

6月現在、支援を希望する利用会員は約900人、担い手となる提供会員は約350人です。支援を受けつつ、空いた時間にはサポートもする両方会員もいます。資格がなくても研修を受けることで提供会員になれるため、子育てを卒業した方などが活躍し

ています。昨年、流山おおたかの森駅前にも新たにセンターを開設し、支援の充実を図っています。



「空いた時間」を活用して、子育てをサポートしてみませんか？

流山市ファミリー・サポート・センター センター長
同江戸川台センター センター長 漆野 達夫さん

ファミリー・サポート・センターの運営で一番の課題は、提供会員をいかに増やしていくかです。興味はあっても「時間を拘束されるのでは?」「引き受けたら断れないのでは?」と二の足を踏まれる方が多いです。しかし、基本は「空いている時間での支援」です。週1回でも可能ですし、都合がつかなくなった場合でもフォローできるような仕組みを作っています。



漆野さん(左)、おおたかの森センター長・田中 由美さん

ファミリー・サポート・センターでは「提供会員になる1day研修会」(右記)を開催しています。1日だけなので気軽に参加できます。提供会員の皆さんからは「私力が貸したことで喜んでもらえるのがうれしく、やりがいになります」という感想が多く寄せられています。地域の子どもをみんなで育てる支援の輪に、皆さんの力を貸してください。

「提供会員になる1day研修会」(右記)を開催しています。1日だけなので気軽に参加できます。提供会員の皆さんからは「私力が貸したことで喜んでもらえるのがうれしく、やりがいになります」という感想が多く寄せられています。地域の子どもをみんなで育てる支援の輪に、皆さんの力を貸してください。

流山市ファミリー・サポート・センター

市内のセンターは江戸川台駅東口と流山おおたかの森駅東口の2カ所。会員登録料は、支援を受ける利用会員が2,000円、支援する提供会員は無料です。

江戸川台ファミリー・サポート・センター ☎7153-4151
おおたかの森ファミリー・サポート・センター ☎7199-2282

ID 170

提供会員になる1day研修会

10/5(木)

平成30年 1/25(木)

※時間はいずれも10時～16時

1日講習を受けるだけで提供会員として登録できる研修会です。申し込みはおおたかの森ファミリー・サポート・センターへ。

所生涯学習センター(流山エルズ) 対市内在住の方
費無料 持筆記用具、身分証明書、弁当

福祉
有償運送

移動が困難な方の 通院や買い物をサポート

ひとりで交通機関を利用することが難しい方にとって、通院や買い物はとて大変です。そこで、車での移動、乗り降りの介助、通院や買い物の付き添いなどを行うのが福祉有償運送(※)です。

※道路運送法の規定により、自家用自動車を有償で活用することが例外的に認められています。



乗り降りの介助から通院の付き添いまでを担う福祉有償運送

あなたの空いた時間で、力を貸してください



左から、市民助け合いネット副代表・弘田娃子さん、代表・片岡さん、副代表・鎌倉常雄さん

NPO法人 市民助け合いネット
代表 片岡 興一さん

市民助け合いネットでは、障害・要介護認定を受けている方を対象に有償で送迎サービスを行っています。現在、支援会員として活動しているのは約50人程度で60～70代が中心です。ニーズも増えているので、若い方にもぜひ支援会員になっていただきたいと思っています。依頼ごとに、支援会員の調整をしていますので、決まった時間を拘束されることもありません。「できることを、できる人が、できる範囲で」。そんな地域の助け合い活動にぜひ力を貸してください。

井崎市長からのメッセージ

「住み続ける価値の高い街」を目指して できることから始めましょう

誰もが住み慣れた地域で健康で安心して暮らすために、子育てや介護、障害者支援などにおいて、地域のサポートがますます重要となってきています。

市では、第3期地域福祉計画を策定し、地域での支え合いのしくみづくりを支援しています。

皆様の知恵を少しずつ出し合い、それを行動に移すことで、誰もが「住み続ける価値の高い街」を一緒に作ってまいりましょう。



流山市長
井崎 義治

市内の福祉有償運送事業所(支援会員を募集中!)

事業者名	所在地	電話番号
NPO法人さわやか福祉の会流山ユー・アイネット	東深井865-44	☎7153-3911
NPO法人思いやりのあるまちづくりの会ふれあい	南流山1-19-12	☎7159-1201
千葉県高齢者生活協同組合花いちりん流山	美原4-1203-1	☎7190-5520
NPO法人C&Cクラブ	美田69-60	☎7154-1325
NPO法人市民助け合いネット	若葉台3-131	☎7153-5733
NPO法人まごころネットワーク	大群537	☎7158-1672